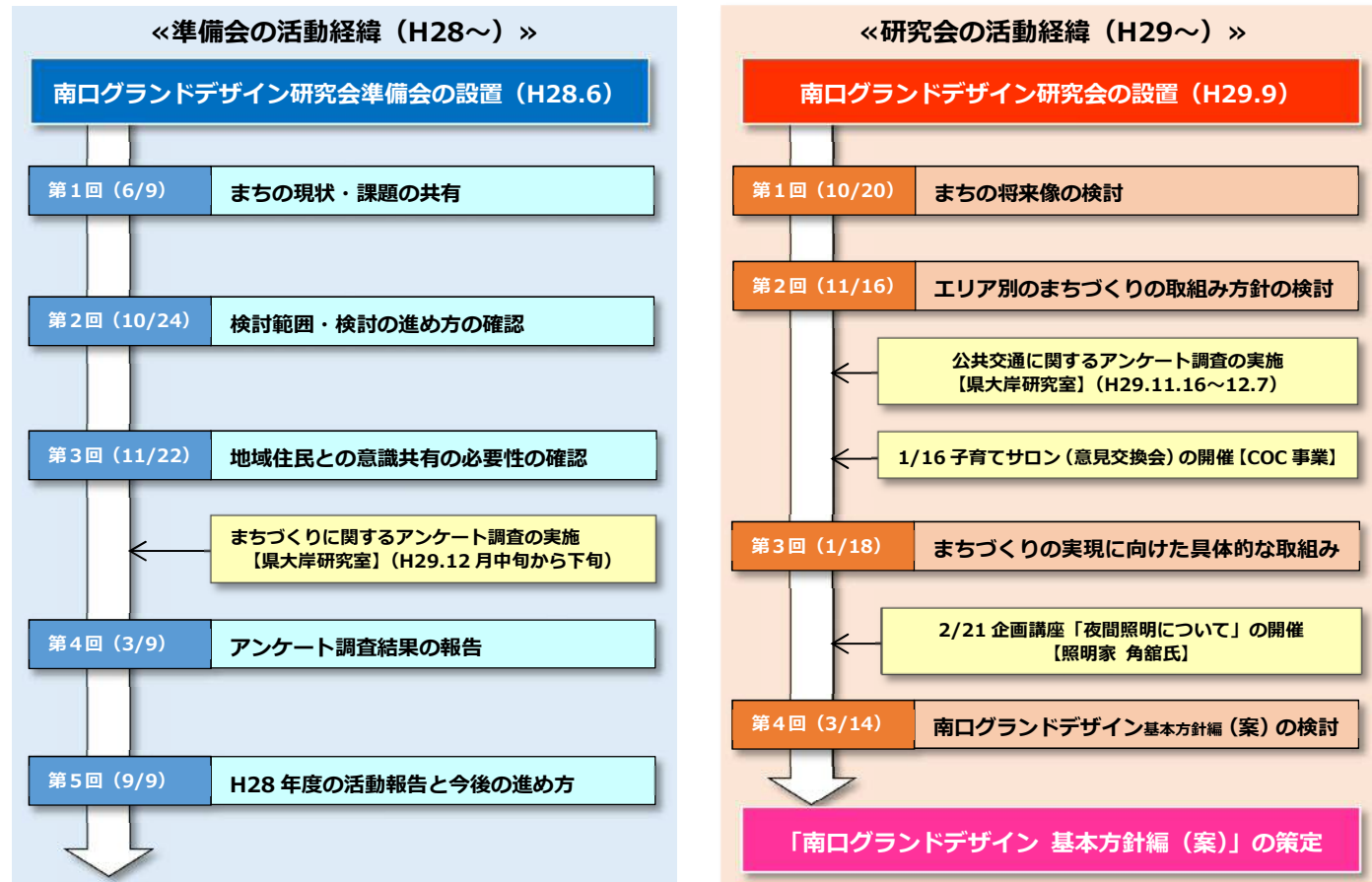


## 4. 南口グランドデザインの策定経過と今後の進め方

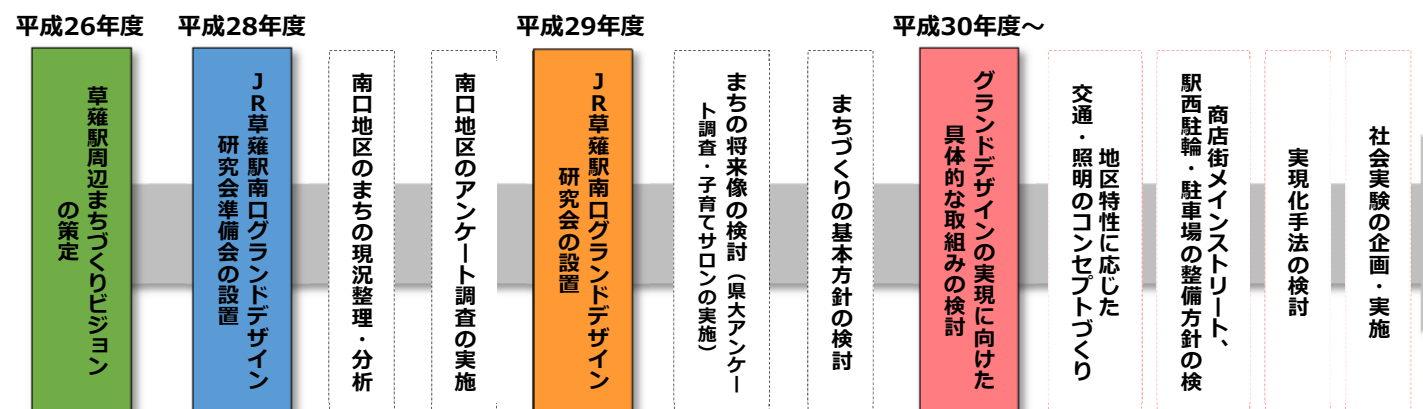
### (1) これまでの検討経緯

南口地区では、これまで「準備会（全5回）」、「研究会（全4回）」を開催し、議論を重ねてきたとともに、**県立大学岸研究室の「交通に関するアンケート調査」**や「子育てサロン（COC会議）」、**照明家 角館氏の「照明とまちづくりの講義」**を踏まえ、さまざまな観点からグランドデザインの策定に取り組んできました。



### (2) 今後の取り組み方針

今後、南口地区では、**産民官学の更なる連携・協力**に努めるとともに、**グランドデザインの実現に向けた方策の検討**を進める必要があります。具体的には、まちづくりの基本方針に掲げた「**交通環境**」と「**照明環境**」について**地区特性に応じたコンセプトメイク**やそれを**実現するための手法、社会実験の企画・実施**を検討するほか、**商店街メインストリート**や**駅西駐輪・駐車場の整備方針**の検討等を予定しています。



## 1. 南口グランドデザインの策定趣旨

草薙駅周辺地区では、平成 27 年 1 月の「**草薙駅周辺まちづくりビジョン**」の策定を機会に、まちづくりビジョンに掲げた理念やあるべき姿を実現するため、地区周辺の産民官学が連携・協力し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進に取り組んでいます。

まちづくりビジョンにおいて、草薙駅南口地区は「**サブエリア**」に位置付けられており、平成 28 年度以降、地区の**自治会代表者や事業者、県立大学、静岡市等との協力**のもと、将来のまちづくりの実現に向けた議論と検討を進めてきました。（H28：準備会の発足、H29：研究会の発足）

そしてこの度、これまでの取り組みの集大成として、南口地区のまちの将来像を明確化した『**グランドデザイン 基本方針編（案）**』の策定を行いました。

#### ※グランドデザインとは…

まちの現状・課題を踏まえ、およそ 20 年先のあるべき「まちの姿」を展望したもの

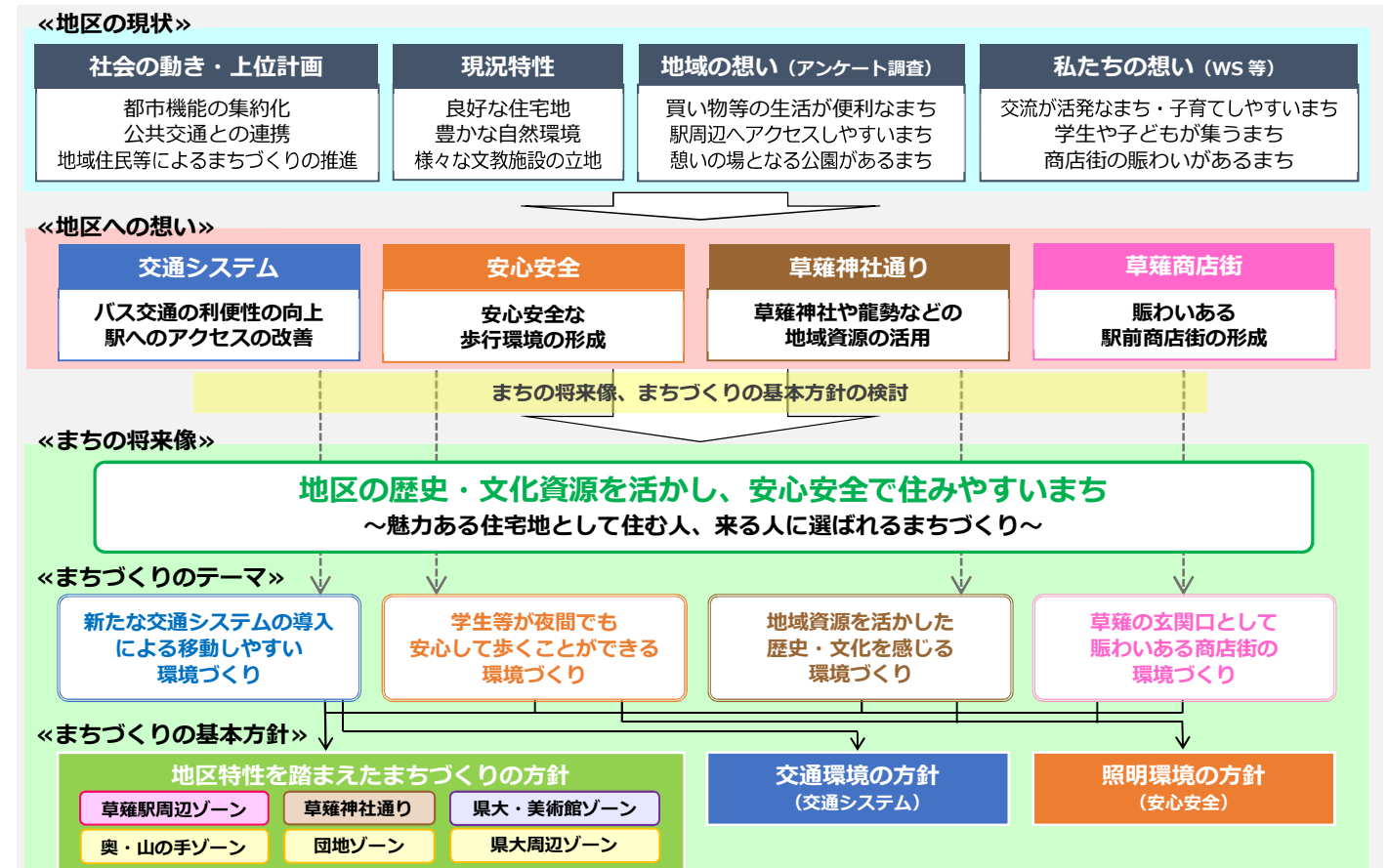
#### <南口グランドデザイン 検討体制>



## 2. 南口グランドデザインの検討の流れ

研究会（準備会）ではこれまで、まちの**現況**を整理・分析し、まちづくりに対する**住民の意向**等を共有しながら、今後のまちづくりのキーワードとして“**地区への思い（公共交通・安心安全・草薙神社通り・草薙商店街）**”を抽出し、**まちの将来像**や**まちづくりの基本方針**の検討を進めてきました。

### <南口グランドデザインの検討の流れ（H28・H29）>





### 3. JR草薙駅南口グランドデザイン 基本方針編（案） ～まちの将来像・まちづくりのテーマ・まちづくりの基本方針～

#### 南口地区のまちの将来像

地区の歴史・文化資源を活かし、安心安全で住みやすいまち ～魅力ある住宅地として住む人、来る人に選ばれるまちづくり～

#### 南口地区のまちづくりのテーマ

交通システム	安心安全	草薙神社通り	草薙商店街
新たな交通システムの導入による移動しやすい環境づくり	学生等が夜間でも安心して歩くことができる環境づくり	地域資源を活かした歴史・文化を感じる環境づくり	草薙の玄関口として賑わいある商店街の環境づくり

#### 「南口地区のまちづくりの基本方針」

##### ◆草薙駅周辺ゾーン

JR草薙駅と静鉄草薙駅が立地する環境を活かし、“南口のまちの玄関口”として、地域住民や来街者等が集い、賑わう環境づくり。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・地域住民や来街者の“居場所”となる商店街メインストリートの形成
- ・駅西駐輪・駐輪場の賑わい空間としての活用促進 等

##### ◆県大周辺ゾーン

静清土地区画整理事業により整備された都市基盤を活かし、地域住民や県大へ通う学生等が安心して過ごせる環境づくり。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・安全な道路環境の形成（夜間照明の設置等） 等

#### 「南口地区全体に係る方針」

##### ◇交通環境の方針

南口の地区特性にあった、誰もが快適に移動できる環境づくり。

##### ＜具体的な取組み方針＞

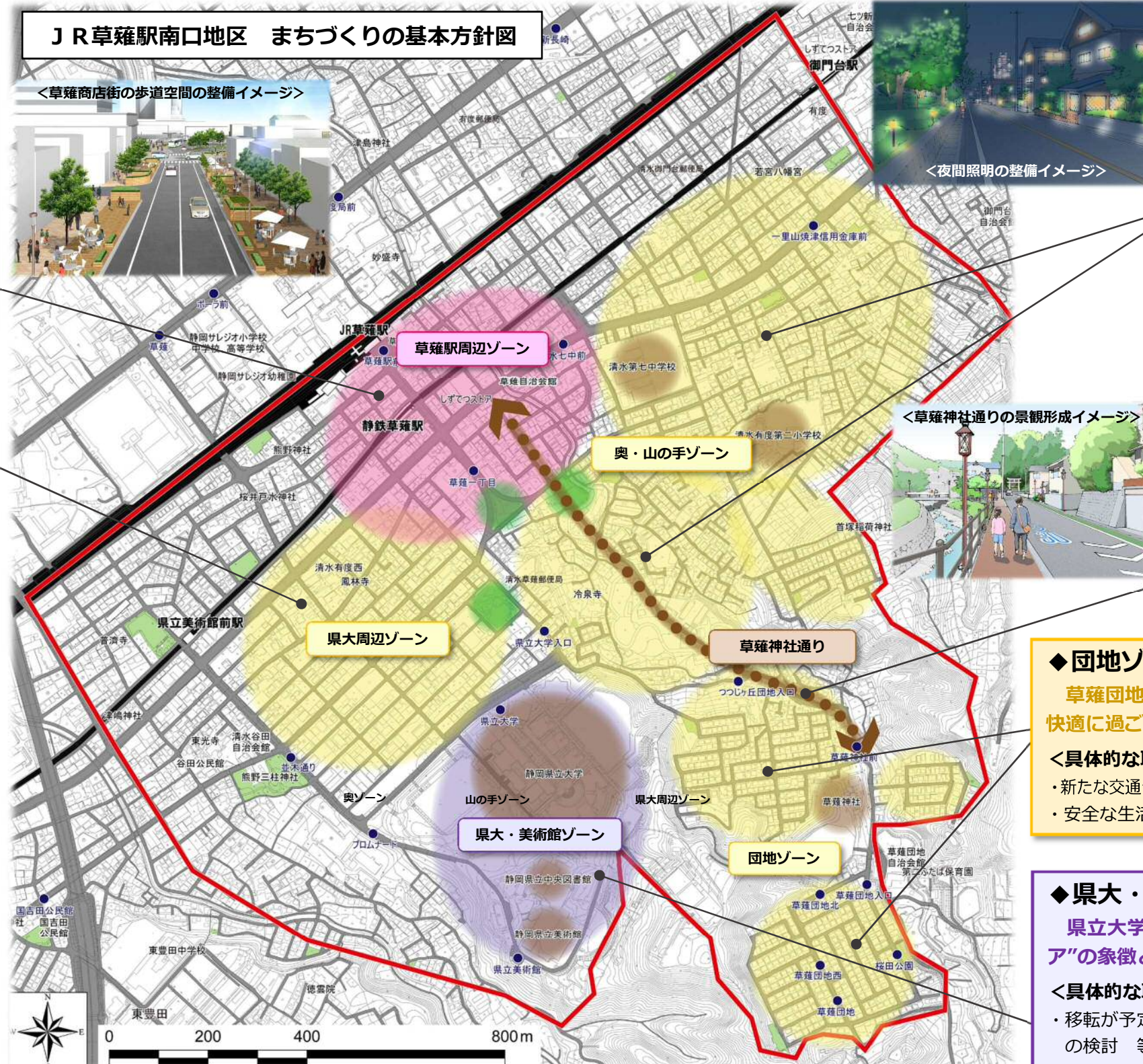
- ・地区の交通課題の深堀検証
- ・地区特性にあった交通コンセプトの検討
- ・新たな交通システム、社会実験の企画・実施 等

##### ◇照明環境の方針

まちの安心感や安全性、にぎわいを演出し、地区の魅力高める照明環境づくり。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・地区特性にあった照明コンセプトの検討
- ・コンセプトに則した社会実験の企画・実施 等



##### ◆奥・山の手ゾーン

豊かな自然環境と調和したゆとりある居住環境の維持と、地域の住民や小中学生等が安全・快適に移動できる環境の形成。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・新たな交通システムの導入による移動しやすい環境の形成
- ・安全な道路環境の形成（通行規制の検討等） 等

##### ◆草薙神社通り

“草薙神社”の参道として、歴史・文化を感じさせる景観づくりと安全な道路環境の形成。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・歴史・文化を感じられる通りの景観形成
- ・安全な道路環境の形成（速度制限の検討等） 等

##### ◆団地ゾーン

草薙団地やつつじヶ丘団地の居住者等が安全・快適に過ごせる生活環境の形成。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・新たな交通システムの導入による移動しやすい環境の形成
- ・安全な生活環境の形成（防災・防犯対策等） 等

##### ◆県大・美術館ゾーン

県立大学、県立美術館等を中心に、“文教エリア”の象徴としてふさわしい環境づくり。

##### ＜具体的な取組み方針＞

- ・移転が予定されている県立図書館の跡地の活用方策の検討 等